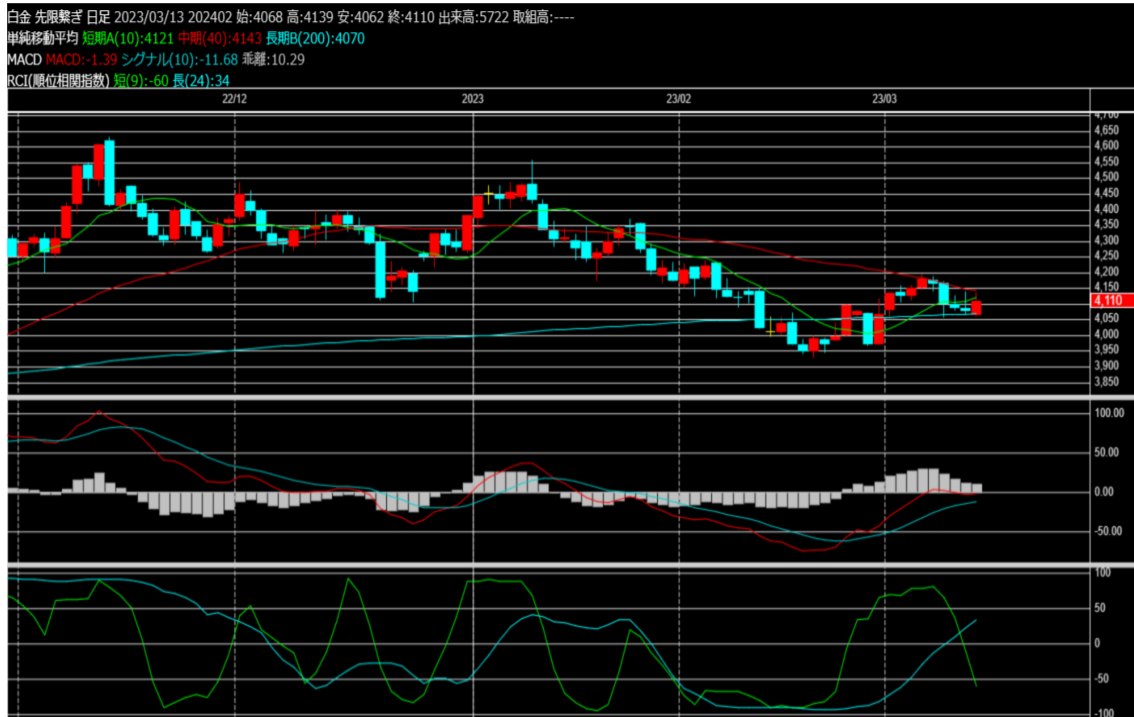


＜白金標準先物、需給要因と信用リスクの綱引きで 4100 円を固める・・・＞



(出所：オアシス)

パウエル FRB 議長の議会証言のタカ派の発言で「より高く、より長く」の景気抑制の動きが強まり、景気商品である白金標準先物は、4057 円まで 100 円を超える下落を見せている。しかし WPIC 第 4 四半期 PGM 需給報告では、2023 年のプラチナは需要が 24%増加するが、供給の制約が厳しく、増加 3%に留まる事から前回の 9 トンの供給不足を 17 トンまで上方修正している。特に 2022 年は 24 トンの供給過剰から一転して 17 トンの供給不足と予想しており、41 トンの減少を示すなど今後価格に対するインパクトは大きくなると予想される。ただ週末に SVB ファイナンシャル・グループ傘下のシリコンバレー銀行が経営破綻したと発表し、資産規模が全米 16 位で、総資産は 28 兆円と日本の大手地銀並みの規模である事から、この波紋が何処まで拡大するかに注目されている。

特に過去 2008 年リーマンショック時は、景気後退を受けて白金価格は大幅な下落を演じているが、シリコンバレー銀行で収まる事であれば価格に対する影響は軽微と予想され、4100 円以下は需給バランスの観点から考えても割安な価格と考えられる。また雇用統計を受けて 14 日の消費者物価指数（CPI）に注目度合いが高まったと見られ、CPI が低下する様であれば、金利低下から巻き戻しの動きも予想されるなど 4100 円を維持すると思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ渋りながら、**シグナル**は切り上げている。また RCI は**短期**が下げているが**長期**は上昇を継続しており、下げ渋る値動きが予想されると思える。また **10 日移動平均線**が切り上げており、4100 円を上回ると強気に傾く値動きの予兆に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 4,500,000 円(2023 年 3 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2023 年 3 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>